

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 8 日作成)

委員会名	建築情報標準化技術小委員会	主 査 名：寺井達夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：河村 廣
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	企画・設計から維持・保全、廃棄に至る建築生産の全プロセスを通じた情報の高度かつ効果的な利用を実現するために必要な建築情報標準化技術の研究開発を啓蒙し、適正化、促進するための調査研究、技術交流等の活動を行い、得られた成果等を出版、シンポジウム等を通じて会員や社会に還元する。 初年度：建設 CALS / EC 関連要素技術の検討、ISO、JACIC、C-CADEC、IAI、土木学会等の活動状況分析ならびに情報交換、研究協力 2 年度：建築プロジェクトのモデル化水準のレベルアップと、それに応じた前年度提示課題等の検討継続 3 年度：建築生産情報統合ガイドブック第 3 版企画、執筆、編集、出版と前年度検討課題の検討継続 4 年度：建築学会大会研究集会開催、前年度検討課題の検討継続	
委員構成 (委員名 (所属))	主査：寺井達夫 (千葉工業大学) 幹事：吉田邦彦 (愛知淑徳大学) 委員：上野泰正 (熊谷組) 岡 正樹 (バスプラスワン) 柏崎孝史 (元大成建設情報システム) 今野一富 (高砂熱学) 清水弘道 (鹿島) 天神良久 (バスプラスワン) 松並孝明 (大林組) 三雲正夫 (新東京建設協同組合) 森本 修 (竹中工務店)	
設置 WG (WG 名：目的)	分類体系WG： 「AIJ コード WD(案)」の見直し、JACIC における JCCS 構築支援、第 3 回建築情報標準化技術フォーラムの企画運営 建築モデルWG： 標準化動向の調査・分析と学会としての提唱等 (STEP、SCADEC、IAI、etc)、公開ワーキングの実施 デジタルドキュメントWG： ISO/IEC82045 に基づく日本版の試案作成、「平面系設計図書の表記内容標準」の明確化 出版WG： 建築生産情報統合ガイドブック第 3 版企画、編集	
2003 年度予算	154,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年度の小委員会の開催は年 8 回で参加人数は延べ 64 人 (概数)。主な小委員会活動として、各 WG における個別標準化技術の調査分析に関する相互調整を行うとともに、土木学会、E C O M、J A C I C、建設業振興基金を始めとする各種組織の標準化活動との研究協力に関わる連携調整、第 3 回建築情報標準化技術フォーラムの企画調整と開催、建築生産情報統合ガイドブック第 3 版の刊行企画調整 (2004 年度継続)、関連研究発表等の広報普及活動に関する調整等を行った。

得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) ・他の標準化関連組織との研究協力(ECOM、JACIC、建設業振興基金、建築住宅国際機構、ISO関連小委員会) ・小委員会活動等のホームページによる公開 ・第3回建築情報標準化技術フォーラム「用語・分類コードの標準化なしに建設CALS/ECはあり得るのか」の開催： 地味なテーマであることから前回までと比べ 30 人程度の参加にとどまったが、現在の建設分野での用語・分類の標準化の動向を占うに十分な活動報告が行われ、一般参加者を含め、分類のあり方についてきわめて活発な討論がなされたことにより大きな成果が得られたと評価される。 ・建築生産情報統合ガイドブック第3版の企画・編集活動： 本ガイドブックは小委員会の活動成果を出版物としてまとめ、その時点での標準化技術のガイドブックとして機能させることが目的のもので、小委員会活動の主要な成果なるべきものである。第3版のタイトルを「ネットワーク時代における建築情報標準化技術」とし、以下の7章構成とした。 第1章：総論 (CALS 実用化への芽生え) 第2章：組織別動向 第3章：デジタルドキュメント 第4章：CAD データ流通 第5章：建築生産モデル 第6章：建築標準分類体系 第7章：建設における情報化実例 現在、外部関係者も含めて原稿執筆とりまとめの最終段階にあり、2004 年度早々に脱稿し、2004 年大会PD開催時の資料として出版の予定で編集作業が進行中。 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/jyoho/M070/
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 2003 年度の活動はガイドブック出版が主体であり、当初計画の微修正が必要となったWGもあったが、基本的には当初の予定に沿った活動が行われたと評価できる(達成度：80～95%と想定)
その他評価すべき事項	2004 年建築学会大会PD「ネットワーク時代における建築情報標準化技術(仮)」開催予定